

わが家の防災メモ

【冷静に行動をしましょう！ご安全に！！】



このハンドブックを通して確認した「わが家・周辺の危険度」や、避難先をこのページにまとめ、「きっと起らないだろう！」から必ず起こる！！心構えの準備をしましょう。

風水害についてまとめましょう

洪水・浸水の危険をチェック

土砂災害の危険をチェック

風災害の危険をチェック

避難するタイミングをチェック

自宅周辺が浸水想定エリアですか？

- ・浸水想定深さはどれくらいです（ ～ ）
- ・避難所までの間に、浸水想定エリアがあり緊急避難による危険が予想される場合
- ・岡本西地区浸水想定エリアから志津南小に緊急避難の可能性はある

自宅に浸水しない階はありますか？

ご自宅が土砂災害警戒区域内ですか？

- ・避難所までの間に、警戒想定エリアがあり緊急避難による危険が予想される場合

ご自宅付近が倒木被害が予想される地域ですか？

- ・避難所までの間に、倒木等での緊急避難による危険が予想される場合

「避難するのに時間がかかる」「家族内に高齢者等がおられる」「避難をしたい」「避難途中で浸水予想エリアがあり避難困難予想される」「総合的に冷静に判断して避難を選択する場合」「一人暮らしの方で、避難補助が必要な方がサポートの方々との段取りが付いた場合」

NO

YES (総合的判断)

YES

NO

YES (総合的判断)

NO

YES (総合的判断)

在宅避難

縁故避難
もしくは
 避難場所

- 志津南まち協
- 若草1・3・5・7集会所
- かがやきの丘町内会館
- 追分南会館
- コーザガーデン自治会館
- 他
- 志津南小学校
- 高穂中学校

■ 開所の場合
■ 高齢者等避難発令で開所
■ 高齢者等避難発令での開所は状況次第

地震についてまとめましょう

地震の規模と被害予想をチェック

■ 南海トラフ巨大地震が発生した場合、草津市全域はほぼ震度6弱以上となり、最大震度は震度6強となる。また、市域の各所で液状化が発生する可能性が高い。・震度分布：地震による震度は、市域全体で震度6弱以上となる。また、局所的には最大震度6強をもたらす。・液状化分布：液状化危険度が高い地域は、市域に広く分布しており、どの地域においても液状化発生危険性がある。

■ 草津市周辺には、幾つもの活断層が存在しており、どの活断層が活動しても地震災害をもたらす可能性がある。また、南海トラフでは、極めて広域な想定震源域による巨大地震が想定されており、十分な警戒が必要である。

← 「草津市防災アセスメント調査<地震被害想定>」 ※詳細は二次元コードをご確認ください。

避難情報の入手方法

草津市の情報伝達手段をご紹介します

災害発生時や災害が発生する恐れのある際に、市ホームページに加えて、下記の方法で市民の皆さんに災害に関する情報や避難情報、避難所開設情報などをお伝えします。1つの方法に絞らずに、複数の手段を用いて情報を収集し、自身やご家族の身の安全を確保する行動を取るよう心掛けてください。

・屋外スピーカー ・電話自動応答装置 ・えいふむ草津 ・しらしがメール、しらしがLINE
 ・草津市安全安心メール、携帯会社の緊急速報メール ・NHK地デジのデータ放送 ・Facebook
 ・LINE ・Yahoo!緊急速報アプリ ・とっておい！機械の操作が苦手な方へ

← 「草津市災害時の情報伝達手段一覧」 ※詳細は二次元コードをご確認ください。

お住いの地域の避難先、防災関係組織の確認

防災関係組織・避難確認チェック

町内会 自主防災組織（班・組・他編成）
 町内会防災備蓄倉庫（ある・なし）

非常持出品 家族の安否
 車避難 徒歩等避難 ご近所さん達の安否
 避難先の開所の確認

（メモ）

避難先 チェック

縁故避難
もしくは
 避難場所

- 志津南まち協
- 若草1・3・5・7集会所
- かがやきの丘町内会館
- 追分南会館
- コーザガーデン自治会館
- 他
- 志津南小学校
- 高穂中学校

■ 開所の場合
■ 高齢者等避難発令で開所
■ 高齢者等避難発令での開所は状況次第

草津市
高齢者等避難詳細

↓

緊急地震速報



発災

落ち着いて、身の安全をはかる！！

地震

出来る方は近隣の一人暮らしの方の安否確認

揺れが収まったら

- ✓ 火の確認
料理中の火を消し、ガスの元栓を閉める。もし出火している場合は落ち着いて安全優先で初期消火！
- ✓ 屋内では破損物に注意
落ち着いて靴を履き、窓ガラスや看板などが落ちてくる可能性があるので慌てて外に出ない。
- ✓ 避難口の確保
ドアや玄関、窓を開けて出口の確保

1分~2分

避難

- ✓ 情報収集
テレビ・ラジオ・携帯電話による情報収集(誤報に注意！)
- ✓ 家の中の点検
戸締り・火の元・ブレーカー等の確認
- ✓ 非常袋の再確認
非常備品の確認をし、覚悟を決めて冷静に行動！！
- ✓ 避難
家族の揃っている時間に発災とは限らず、携帯が繋がらない場合もあるので、家族で決めた場所に行先等を記載し貼っておく

一先ず、安全で被害の危険性が少ない場所に移動し次の行動に！
(自宅庭、近隣宅、空き地、等)

3分~10分

- 余震に注意！！
- ✓ 情報収集(ラジオ・携帯電話・防災無線・ご近所さんと・他)
 - ✓ 子どもの迎え、家族との合流(個別避難の可能性を念頭に、ご自身の安全第一を優先)
 - ✓ 近隣の安否確認(ご自身の安全第一を優先後、近隣の方の安否確認・救出)
 - ✓ お互い様で助け合いながら行動を！！

一とき避難先で安全の見通しが立った時
※余震に注意しながら、安否確認や「初期消火・救出活動・応急救護」

一とき避難先が危険
※余震に注意しながら、協力しながら次の避難所に

10分~30分

近隣避難先

- 町内・組の近隣避難場所に(会館・公園・空き地)
- 住人が集結
 - 自主防災会の組織を優先に行動するが、組織通りにいかない事を前提にお互いさま行動を優先するのが善策
 - 情報収集のまとめ

近隣避難場所に移動し安全の見通しが立った時
※余震に注意しながら、帰宅

近隣指定場所は危険
※協力しあって、広域避難場所に、余震等に注意しながら避難

30分~数時間

近隣指定場所は安全で情報収集

余震がおさまり、安全が確保できる場合は一先ず自宅に

自宅、近隣の確認後生活ができる

自宅、近隣の確認後生活ができない

在宅避難(親戚・知人宅)
※お互いさまで、出来る範囲で各方面での協力が理想

近隣指定場所、自宅、危険
※協力しあって、広域避難場所に、余震等に注意しながら避難

在宅避難が限界の時は避難

広域避難所

被災者が一定期間の仮住まいをする施設として想定しており、多くの被災者を受け入れることのできる施設です。災害時には、必要な物資の提供等を受けることができます。

(注釈1は、ヘリコプター発着場所)
(広域避難場所の被災状況による)

- 高穂中学校 (注釈1)
洪水、崖崩れ、土石流及び地滑り、地震、大規模な火事、内水氾濫
- 志津南小学校
洪水、地震、大規模な火事、内水氾濫

福祉避難場所一覧

介助が必要な高齢者や障がい者、妊産婦等災害時要援護者に配慮した避難所。草津市においては、大災害時、災害時要援護者は最寄りの広域避難所に避難していただき、その後、市の要援護者支援班の誘導で、福祉避難所に避難することになります。

「なごみの郷・長寿の郷ロクハ荘・市立障がい者福祉センター・市立発達支援センター」

「避難行動要支援者とは」

地域防災計画に基づき、家族以外の第三者の支援がなければ避難できない在宅の人のうち以下の人としています。

1. 75歳以上のひとり暮らし高齢者
2. 75歳以上の高齢者のみの世帯の人
3. 介護保険法で要介護1以上の認定を受けている人
4. 身体障害者手帳の1級又は2級に該当する人
5. 療育手帳A1又はA2の人
6. 精神障害者保健福祉手帳1から3級に該当する人
7. 難病患者のうち特定疾患医療受給者等
8. 1から7に準じる状態にあり、避難行動要支援者であることを申し出た人

【個別避難計画で決めること】

「誰が避難をサポートするか」

対象者が避難する際に避難誘導や安否確認等の支援が必要な場合、ご家族や近隣の地域住民、福祉事業者等の支援を実施する方の氏名や連絡先、住所などを記載します。

「どこに避難するか」

特に避難後の生活において介助等の配慮が必要となる場合、近隣の市が指定する避難所だけでなく、親戚及び知人宅や、地域の避難所、日常利用している福祉施設等も候補に入れて、適切な避難先を選定します。（必要に応じてその経路も検討します。）

「いつ避難するか（時系列的な避難行動）」

気象情報や避難情報を目安とし、いつ避難を完了させるかを事前に決めます。

避難開始までに必要な行動も含めて、当事者や地域がすべき対応を時系列でまとめます。

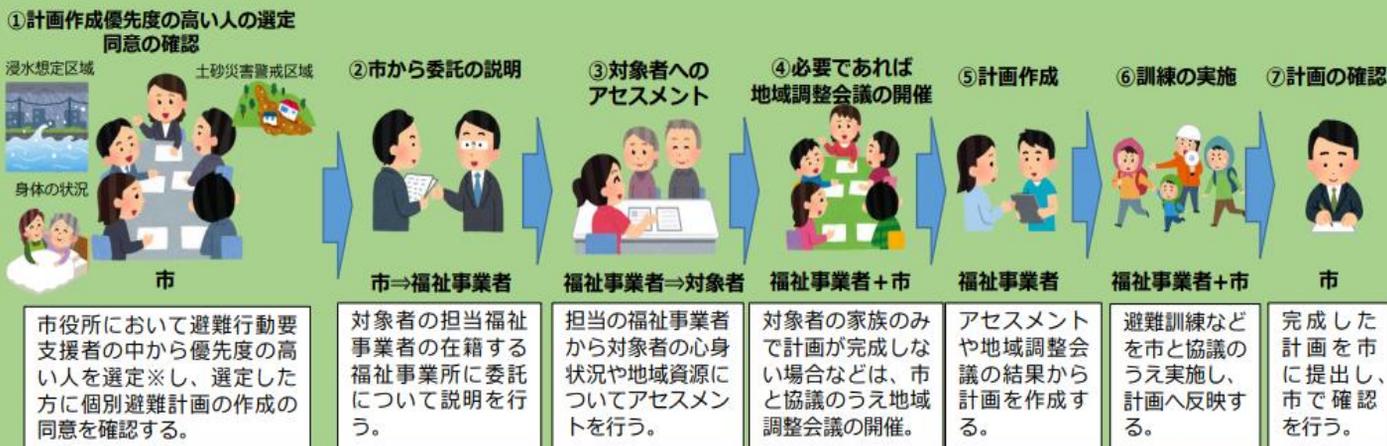
注：その他、移動の際の持ち出し品や、移動時や生活支援に必要な合理的配慮の内容なども必要に応じて決めておきます。

優先的に作成する個別避難計画の事業スキーム

【事業の関係者】



【計画作成の流れ】



【選定について】

令和5年度第1次対象者：土砂災害警戒区域に居住する避難行動要支援者のうち同意の得られたハイリスクの方その他心身の状況から優先度の高い方
令和6年度以降第2次～第3次対象者：浸水想定区域に居住する避難行動要支援者のうち同意の得られたハイリスクの方その他心身の状況から優先度の高い方（第2次は浸水深3m以上、第3次は50cm～3mの方）

避難行動要支援者の「マイ・タイムライン」と「地域タイムライン」

作成日：令和 年 月 日

■災害への備えと個人情報使用の同意について

災害発生時に地域の支援者と安全に避難できるよう、「私に必要なこと」を理解してもらうため、私に関する情報を関係機関・者と共有することに同意します。

フリガナ						事業所名		
氏名 (自署)	性別	男・女	生年月日	年	月	日	歳	作成者
住所				電話番号				

災害リスクを知って「逃げるタイミング」を理解しましょう。地域で協力し、「誰ひとり取り残さない避難」へ。

■住まいに起こりうる災害は…ハザードマップで確認を！

□住まい 建築時期	年	月	構造	木造・鉄骨・鉄筋	建て
□洪水	浸水区域内・区域外		浸水深		メートル
□土砂災害	警戒区域内・区域外				



■持ち物リスト

<input type="checkbox"/> 現金（小銭）	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 保険証	<input type="checkbox"/> 手指消毒液
<input type="checkbox"/> 服用薬	<input type="checkbox"/> 体温計
<input type="checkbox"/> お薬手帳	<input type="checkbox"/> 石けん
<input type="checkbox"/> 携帯電話（充電器も）	<input type="checkbox"/> 使い捨てビニール手袋
<input type="checkbox"/> 着替え	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> メガネ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 入れ歯	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 補聴器	■自宅に必要な備え
<input type="checkbox"/> 車いす	<input type="checkbox"/> 非常食（ ）日分
<input type="checkbox"/> 杖・シルバーカー	<input type="checkbox"/> 飲料水（ ）日分
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 懐中電灯（電池も）
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■ペットを飼っていますか はい いいえ

一緒に避難する

知人らに預ける（ 日前に）

■避難準備にかかる時間は？

<input type="checkbox"/> 家族らへの連絡	分
<input type="checkbox"/> 持ち出し品の準備	分
<input type="checkbox"/> 家の戸締まり	分
計	分 ①

■どこに避難しますか

	■距離	■手段	■移動時間
<input type="checkbox"/> 避難先 1			分 ②
<input type="checkbox"/> 避難先 2			分 ③
<input type="checkbox"/> 自宅の浸水しない場所（2階以上など）	→ <input type="checkbox"/> 手助けが必要 <input type="checkbox"/> 手助けは不要		

<input type="checkbox"/> 避難先 1 へかかる時間（① + ②）	計	分
<input type="checkbox"/> 避難先 2 へかかる時間（① + ③）	計	分

作成：兵庫県 防災と福祉の連携による個別支援計画作成促進事業 実行委員会



■自由記述欄

※ここに示した警戒レベルなどのタイミングはあくまでも目安であり、実際の災害時とは異なります。防災・気象情報などを参考にしながら、状況に応じて早めに判断してください。